

令和5年度「流山市こども会議」の提案内容の検討結果

第1グループ

提案テーマ	相談できる場所や人について
解決したい課題や要望	①相談する場所はあるが、相談しにくい ②あまり知られていない ③相談アプリの登録率、相談件数が低い ④不登校の人が授業を受けづらい
詳しい内容	①～③について ・カウンセラーや専門家に授業をしてもらう。 ・授業の内容→オンライン、多人数で相談しやすく、通話やチャットなどで家からでも相談できるアプリの存在をもっと知ってもらう。 ④について ・学校の配信環境を整える。 ・先生方がオンラインを活用できるよう、職員研修等で知識を共有する。 ・授業の生配信（リモート）を義務化する。 ・授業の録画をして、教員が生徒に共有できるようにする。



流山市の考え方
■現在の取組状況 ○専門家による授業 ・現在、いじめ防止の観点から、小学5年生及び中学1年生を対象に、スクールロイヤーによるいじめ防止授業を実施しています。 ・スクールカウンセラーによる授業については、好事例を教育委員会から学校へ共有し、各学校の状況に合わせて実施ができるよう促していきます。 ○相談アプリの周知 相談アプリについては、毎年5月及び長期休業前に市立中学校全生徒に周知するほか、中学1年生を対象に実施するいじめ防止授業でも案内しています。 ○不登校児童生徒へのオンライン授業 1人1台端末を利用したオンライン授業を実施しています。また、中学生には、県教育委員会が実施しているオンライン授業「エデュオプちば」を案内しています。
■流山市こども会議による提案の検討結果 ○専門家による授業 カウンセラーによる授業実施についても検討していきます。 ○相談アプリの周知 なやみや困りごとを抱える生徒が相談に繋がるよう引き続きアプリの周知に努めていきます。 ○不登校児童生徒へのオンライン授業 各学校のオンライン授業の取り組みについて、好事例を教職員向けの研修会で周知していきます。



○第2グループ

ていあん 提案テーマ	しぜんかんきょう つうがく ろ 自然環境や通学路について
かいけつ 解決したい かだい ようぼう 課題や要望	しぜんかんきょう ○自然環境について かんきょうもんだい たい いしき ひく ・環境問題に対する意識が低い。 - しぜんかんきょう たい かんしん ・自然環境に対する関心が低い。 - きかく せいさく にんち ・企画や政策が認知されていない。 - きほんけいかく し ・みどりの基本計画が知られていない。 - きかく せいさく にんち ・企画や政策が認知されていない。 つうがく ろ ○通学路について ひとでぶ そく あんぜん まも ・人手不足により安全が守られていない。 - たい がいどう えんせき すく ・ニーズに対して街灯や縁石が少ない。 - まも がくせい ・ルールを守らない学生がいる。 - きかく せいさく にんち ・企画や政策が認知されていない。
くわ ないよう 詳しい内容	しぜんかんきょう ○自然環境について ・ポスターやチラシなどで政策を伝える。 - みちか しよくぶつ ふ しぜん ふ きかい ふ ・身近に植物を増やしたり、自然に触れる機会を増やしたりする。 - ちいき かたがた きょうりよく ひろ ・地域の方々に協力してもらう。⇒ゴミ拾いイベント - しょうちゅうがくせいむ し さくせい ・小中学生向けのわかりやすいサイトを市が作成する。 - かんきょうもんだい ふ きかい しょうすいじょうけんがく ・環境問題に触れる機会をつくる。（浄水場見学など） つうがく ろ ○通学路について こうつうあんぜんきょうしつ かいすう ふ ・交通安全教室の回数を増やす。 - ちいき ひと きょうりよく どうげこう じかん いえ しゅうへん みまも ・地域の人たちに協力してもらう。⇒登下校の時間に家の周辺を見守ってもらう。 - せいさく つた ・ポスターやチラシなどで政策を伝える。

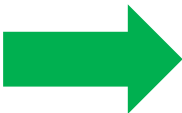


ながれやまし かんが かつ 流山市の考え方
げんざい とりくみしょうきょう ■現在の取組状況 しぜんかんきょう ○自然環境について かんきょうもんだい かん いしきじょうせい いちのや もりたんけん しみんかんきょうこうざ せいぶつたようせい ・環境問題に関する意識醸成のため、市野谷の森探検ツアー、市民環境講座、生物多様性シンポジウムなどイベントを企画し、広報ながれやま、ホームページ、チラシなどを通じ、ひろ さん か よ か かいさい ・広く参加を呼び掛け、開催しています。また地域の環境美化の観点から、自治会等の地域のちいき かんきょうび か かんてん じちかいどう ちいき - の方々が行うごみゼロ運動に対してゴミ袋の提供やゴミの回収などのサポートを行っかたがた おこな うんどう たい びくろ ていきょう かいしゅう おこな - ています。 - きほんけいかく こ ばん まいねんしょうがっこう ねんせいむ きょうざい くば こ ・みどりの基本計画子ども版を、毎年小学校5年生向けの教材として配っています。子ども版は、市のホームページでも見ることができます。 - かくきょうか そうごうてき がくしゅう じかんとう かんきょうもんだい がくしゅう しょうすいじょうけんがく ふく けんがくたい ・各教科や総合的な学習の時間等で環境問題について学習し、浄水場見学を含め見学体験を各学校で行っています。けん かくがっこう おこな つうがく ろ ○通学路について しょうがっこう こう つうきん か もの ふうだんどお せいかつ おく おこな ・小学校11校が通勤や買い物、ウォーキング等、普段通りの生活を送りながら行う「ながらボランティア」の取組を行っています。また実施している学校のうち9校は、保護者や地域のちいさ しょうがっこう じっし がっこう こう ほごしや ちいさ - の方にパトロールカードや横断旗等を配布し、児童生徒の見守りを依頼しています。かた おうだんきとう はいふ じどうせいと みまも いらい ・さらに、自治会やPTA、学校、市教育委員会が、児童生徒の登下校時や放課後に見守りやパトロールを行い、ちいさ がっこうきょうどうほんが よ みまも おこな - 地域学校協働本部からの呼びかけによる見守りも行います。
ながれやまし かいぎ ていあん けんどうけつか ■流山市子ども会議による提案の検討結果 しぜんかんきょう ○自然環境について じょうき きさい ようぼう たい すで じっし おお ・上記に記載のとおり、要望に対し既に実施していることが多くなっています。なお、しょうちゅうがくせいむ さくせい しょうほうはっしん ひょうげんほうほう たんとうか どうよう しょうちゅうがくせいむ - 小学生向けサイトの作成については、情報発信や表現方法など、担当課と同様に小中学生向けサイトの作成要望を受けている関係課とも連携し、市として今後どのような在り方が良いかを検討する必要があると思われる、現時点では作成の予定はありません。けんどう ひつよう おも げんじてん さくせい よてい ・みどりの基本計画の子ども版の配布を始めて、5年がたちました。より皆さんに知ってもらえるよう今後も配布をしていきます。きほんけいかく こ ばん はいふ はじ ねん みな し つうがく ろ ○通学路について こんご ・今後、ながらボランティアによる見守りについて、さまざまな実践例を研究するとともに、かくがっこう はたら おこな - 各学校に働きかけを行っていきます。
かんれん 関連ページ
ながれやまし きほんけいかく ○流山市みどりの基本計画 https://www.city.nagareyama.chiba.jp/information/1007116/1007365/1007490/1007491.html



○第3グループ

ていあん 提案テーマ	こうそく せいふく 校則や制服について
かいけつ 解決したい かだい 課題や要望	【現状】 - 学校によって違いがありすぎる - 話し合う機会が少ない - 意見が通りづらい（生徒総会など） - なくてもよい校則とあったほうがいい校則がある 【課題】 - 個性がなくなっていく - 自律できなくなる - 勉強のモチベーションが下がる - 校則によってはお金がかかる
くわ 詳しい内容	～校則自由化に向けたテスト～ - お試し期間として校則をなくしてみる →実施する前と後で生徒の様子を比較して校則の見直しをする - 校則を自由化した後に成績にかかわらないミニテストを行う →校則によって学力が低下しないことを証明する 《課題解決に向けて自分たちができること》 - 先生に訴える （署名運動をして同じ意見の人を集める） - 学級会の議題にする



ながれやまし かんが かんが 流山市の考え方
げんざい とりくみじょうきょう ■現在の取組状況 せいかつ きとう なかみ 生活の決まり等の中身については、各学校によって異なっています。
ながれやまし かいぎ ていあん けんどうけつ か ■流山市こども会議による提案の検討結果 せいかつ きとう なかみ あらた みなお はか がっこう 生活の決まり等の中身について改めて見直しを図り、学校のホームページに掲載するとともに、取組のフィードバックは、学校が変わったことをこどもたち自身が認識しやすくなるよう各学校の学校だより、スキットメール等を活用し進捗状況を報告していきます。



令和5年度 こども会議報告会資料
第3グループテーマ：校則や制服について